

在宅医療・介護連携推進事業に係る 市町村の取組について

(旧ア)地域の医療・介護の資源の把握

R3.12.末日時点

	市町村名	具体的内容	課題	医師会・医療機関に協力を依頼している内容
6	十和田市	<ul style="list-style-type: none"> ・「保健・医療・福祉 連携の手引き」介護事業所、医療機関の基本情報リストを作成。令和2年度～更新、改善点の検討。 ・「十和田市高齢者まっぷ」の活用。正誤表と共に医療機関や市民に配布。(令和2年4月修正) ・「空床情報共有システム」の運営。(令和2年度:新規4事業所追加) ・「十和田くらしの便利帳」の中に医療マップ掲載し全世帯に配布。(令和3年4月) 	・情報更新	・情報提供
7	三沢市	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携に関するアンケート調査 ・医療・介護事業所リストの作成・配布・更新 ・医療・介護マップの作成・HP掲載 	・医療・介護リストの更新事務	・アンケート調査
24	野辺地町	<ul style="list-style-type: none"> ・「在宅医療・介護ガイドマップ 認知症ケアパス」を最新の内容に修正し、医療・介護関連機関へ配付(R3.3月)。地域住民への情報提供及び関連機関の相談業務等への活用を図っている。 ・「町の事業について」通いの場(みんなのステーション)を掲載している。 	・定期的な内容の修正(最新情報)地域の医療・介護の資源情報として幅広い活用を図る。	・掲載内容の照会を依頼。修正後のパンフレットを配付し、相談業務、情報提供として活用を依頼している。
25	七戸町	・医療機関、介護事業所等のリストを作成(R2年9月)。医療機関や介護支援専門員と情報を共有している。		
26	六戸町	・資源マップに通いの場を追加した。マップにバス路線も掲載し、住民が参加しやすいようにした。民生委員に協力してもらい、高齢者世帯に配布している。		
27	横浜町	・介護保険の手引きに医療・介護事業所のマップを更新して掲載。今年度7月に更新予定。	・町外の情報の掲載について	
28	東北町	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護マップ(H30.4改訂):65歳到達者へ配布。相談時活用。 ・認知症ケアパス(H30.3):各種会議時配布。相談時活用。 ・100歳体操(通いの場)マップ(R4.1):各種会議時配布。相談時活用。 	・近隣市町村の医療情報不足	
29	六ヶ所村	・医療・介護の資源マップを令和2年度に更新し、高齢者の相談窓口等に配布した。	・村内の関係機関のみのマップであるため、近隣市町村の医療機関の情報が不足。	

(旧イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

	市町村名	具体的内容	課題	医師会・医療機関に協力を依頼している内容
6	十和田市	・「上十三地域橋渡し連携パスネットワーク委員会」(保健所・圏域や八戸の病院、市内及び周辺地域包括担当者等)各委員から出された課題について検討。 ・「十和田市医療介護連携推進会議」での情報集約、共有を行っている。 ・十和田市医療介護連携相談支援センターへの問い合わせ、相談窓口での課題収集を行っている。	・課題の抽出、対応策を講じた後のアウトカムを得る方策について検討中。	
7	三沢市	・在宅医療・介護連携推進協議会の定期的開催と部会組織によるきめ細やかな検討	・課題解決困難な事例が多い	・協議会への委員の派遣(協議会会長となっている)
24	野辺地町	・R3年度から地域ケア個別会議設置要綱に基づき、利用者又はケアマネが抱える課題解決に向け、多職種の多角的な視点による検討や、個別ケースや地域の課題に関して会議を開催した(3回開催)。包括福祉ケア会議では、各部会の検討事項や意見、課題について意見交換を行った(1回開催)	・生活困窮や認知介護、身寄りがいないなど多重課題を抱える困難事例が多く、課題解決に時間を要する。地域ケア個別会議では、透析患者の施設入所の課題について検討した。	・関連医療機関の職員に、個別ケース会議、包括福祉ケア会議への参加を依頼している。
25	七戸町	・地域ケア個別会議や町主任介護専門員連絡会において現状や連携に関わる課題を共有。		・地域ケア会議への参加。
26	六戸町	・地域ケア個別会議で町内事業所から個別ケースの事例検討をしている。多職種間で検討し、その中から町の課題を抽出しているが、令和2年度は施策につながるような課題は抽出されなかった。		
27	横浜町	・既存の会議体(ケアマネジメント会議、地域ケア個別会議、認知症初期集中支援検討委員会等)において現状や課題の共有。		・町内医療機関については各会議の出席を依頼している。
28	東北町	【医療・介護関係者研修会:2回実施】 ・第1回目(実施)介護職と訪問看護師との連携～病院看護師と地域看護師の経験から多職種連携を考える。(19名参加) ・第2回目(予定)看護師の視線から施設・在固くでの取り組みについて感じていること。 どちらの研修も訪問看護師より話題提供した後グループで、共有したい情報のやり取りについて、どのような地域になれば、自分らしく終末期を迎えられるか話し合う内容。職種によって観察する視点が違うことや、どのような内容の情報が必要かなど意見が出されていた。		・町内医療機関に会議や研修会の出席を依頼している。
29	六ヶ所村	・地域ケア会議において、課題抽出や問題解決について、関係者間で課題を共有。(R3.3.17:介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について説明し、在宅で最期を迎えるための体制づくりをしていく必要があることを確認した。) ・地域ケア会議において、連携事業に関する研修伝達や、村の医療連携等の状況と課題を話し合い共有した。(R3.12.15)	・看取りのための体制拡大など、医療担当課も交えて検討が必要。	

(旧ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

	市町村名	具体的内容	課題	医師会・医療機関に協力を依頼している内容
6	十和田市	<ul style="list-style-type: none"> ・十和田市立中央病院「Web連携の集い」の開催。新型コロナウイルス感染予防対策のため、Zoomを使用した講演会を医療介護関係機関を対象に行た。((会場56名、Web85名、合計141名参加) ・「在宅医療多職種連携会」で在宅医療に関わる問題についてアンケートを実施し「上十三地域連携パス・ネットワーク協議会」へ報告。(コロナにより例年通りの開催は中止) ・「十和田市医療介護連携推進会議」を開催。テーマ:地域で看取る畑づくり 十和田市版エンディングノート(わたしの参考書)の周知、啓発を行なった。 ・十和田市立中央病院内に「在宅まるごと外来」(診療科)を設置し、開業医やケアマネージャーから、訪問診療(在宅での看取り)の意向がある患者を紹介している。 		
7	三沢市	<ul style="list-style-type: none"> ・退院支援調整 ・急変時の対応 ・看取りに関すること(令和3年度終活ノート作成中) ・上記に関する手引きガイドライン等の検討 	・専門職においても終末期の定義について理解するのが困難である。	・特になし(今後、依頼する予定)
24	野辺地町	・救急キットに登録している高齢者が救急搬送された場合、迅速に医療へ繋がるようようにiPadを活用している。R2年度にパンフレットを作成しスムーズな運用を図っている。夜間・休日は、「緊急連絡体制」に基づき緊急対応している。	・登録者の医療情報等の定期的な更新。	・野辺地病院・消防署へ当該事業の協力を依頼している。
25	七戸町	・休日夜間は役場宿直より地域包括支援センター担当へ連絡が入る体制になっている。		
26	六戸町	・夜間休日は役場日直室から担当に連絡が入るようになっている。必要に応じて消防から救急搬送したケースの情報提供がある。		
27	横浜町	・夜間・休日は役場宿直より包括へ連絡が入るシステムになっている。	・訪問看護事業所が町内にないので在宅医療を支える体制の構築が課題である。	

	市町村名	具体的内容	課題	医師会・医療機関に協力を依頼している内容
28	東北町	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談：在宅介護支援センター対応＊24時間対応（4か所） ・時間外対応（緊急時）：連絡網あり（警備員→課長→担当者） ・救急キット設置：見守り活動推進事業 ・高齢者等ネットワーク会議で病院、警察、消防と情報交換実施。 ・医療・介護関係者研修会やケア会議等で情報交換。 	・在宅看取りについては町内の医療資源では難しい。	
29	六ヶ所村	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医療機関、既往症、服用薬等の緊急時に必要な情報を記入した救急情報シート等を保管し、救急隊員がかけつけた際に、迅速に医療機関につなげている。 更新については、支援対象者訪問時、及び冬期間実施の独居高齢者等の個別訪問の際確認している。 ・夜間・休日については、日当直職員等をとおり、担当者に連絡が入るようになっており、個別のケースを通し対応について関係機関に周知している。 	・全対象者に対する定期的な情報の更新	

(旧才)在宅医療・介護連携に関する相談支援

	市町村名	具体的内容	課題	医師会・医療機関に協力を依頼している内容
6	十和田市	・十和田市立中央病院内に「十和田市医療介護連携相談支援センター」として、市民に分かりやすい窓口を設置し運営を行っている。受け付けた相談内容は医療介護推進会議で方策を検討行い、地域へ還元を行っている。		
7	三沢市	・30年4月より市介護福祉課内に、在宅医療・介護連携支援センター開設(専従職員1名配置)	・既存病院内の地域医療連携室と機能が重複する部分があること	・特になし(今後、依頼する予定)
24	野辺地町	・在宅医療・介護等に関する連携調整や、必要に応じ支援者間の個別ケース会議を開催し、課題解決に向けた支援を行っている。 (令和3年4月～12月までの総合相談件数は76件)	・休日・時間外の対応	・相談内容に応じ、医療機関の地域医療連携室や相談員との連携・協力を依頼している。
25	七戸町	・窓口は地域包括支援センターに設置。相談件数48件。町内の在宅介護支援センターに委託している地域相談窓口(4か所)と連携をとり支援している。		
26	六戸町	・相談窓口は包括支援センターに設置している。(令和3年12月末時点:373件数)		・必要に応じて連携室から受診状況等について情報共有する。
27	横浜町	・地域包括支援センターに設置している。住民から7件。(介護申請の相談は含まず)		
28	東北町	・総合相談で医療・介護関係者と相談、連絡調整、情報交換等実施。 (相談件数:111件 11月末時点)		
29	六ヶ所村	・在宅医療・介護連携に関する相談支援窓口を地域包括支援センターに設置 ・相談件数 全体2件(内 家族から1件、ケアマネから1件)	・住民への周知	

(旧キ)地域住民への普及啓発

	市町村名	具体的内容	課題	医師会・医療機関に協力を依頼している内容
6	十和田市	<ul style="list-style-type: none"> ・市民を対象として「十和田市民あんしん生活活用講座」をHYBRIDで毎月開催、在宅で過ごすためのスキル、啓発を行っている。 ・「Web病院まつり」でZoomによる在宅医療介護に関する講演会開催。医療介護関係機関、地域住民へ周知。 ・エンディングノート周知にあたり、医療介護関連の他、十和田市町内会、弁護士からも協力いただく。 ・「救急医療情報キット」を市民へ普及啓発している。 		
7	三沢市	<ul style="list-style-type: none"> ・市ケーブルテレビを活用し市民向けに在宅医療に関するドラマを作成・放映 ・市民向けパンフレットの発行 	・いかに市民に分かりやすく在宅医療・介護に関する普及啓発ができるかが課題	・特になし(今後、依頼する予定)
24	野辺地町	・平成30年度に作成した「在宅医療・介護ガイドマップ 認知症ケアパス」の掲載内容を最新の内容に修正し、医療・介護関連機関へ配付(R3.3月)し、地域住民への情報提供及び相談業務に活用している。	・パンフレットの内容(医療・介護・暮らしに関する事業などの資源)の定期的な更新	・相談業務、情報提供の資料としての活用を依頼。
25	七戸町	・「在宅医療と介護連携」についての住民向けリーフレットを相談窓口で配布。		
26	六戸町	・在宅医療・介護連携事業についてホームページへの掲載している。		
27	横浜町	・住民向けのパンフレットを配布。住民向け研修を1回実施した。		
28	東北町	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議等で医療・介護マップや認知症ケアパス、100歳体操(通いの場)マップを活用し周知 ・認知症カフェでの死生観についてのフリートーク ・認知症カフェの開催内容等を東北町広報に掲載 ・出前講座 		
29	六ヶ所村	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにおいて医療・介護のマップを掲載、窓口等で相談者に配布 ・健康づくりカレンダーに窓口について掲載 	・住民、関係機関への周知及び利用に関する状況・効果の評価	・医療・介護資源マップの掲示

(旧エ)医療・介護関係者の情報共有の支援

	市町村名	具体的内容	課題	医師会・医療機関に協力を依頼している内容
6	十和田市	・「上十三圏域における入退院調整ルール」等の既存の情報共通ルールの活用・推進。	・モニタリングと修正の継続体制 ・入退院以外での情報共有ツールの必要性を判断するための課題の把握	
7	三沢市	・入退院時情報提供シートの利用促進 ・情報共有シート、連携シートなど利用促進 ・かかりつけ連携手帳の作成・運用	・活用状況の確認・見直しの検討	・特になし(今後、依頼する予定)
24	野辺地町	・R3年度も入退院調整ルールモニタリング調査を実施し、保健所へ報告した。		
25	七戸町	・入院時情報共有シート(上十三圏域)の活用。医療系サービス導入時の連携ルール(町内介護支援専門員と公立七戸病院)の実施。地域ケア個別会議で医療と介護関係者と情報共有している。		
26	六戸町	・退院調整ルールの活用。令和3年4月から包括支援センターでも「あおもり医療・介護手帳」の配布をしていくことを周知。	・あおもり医療・介護手帳の運用について。	・退院調整ルールの運用。関係機関へ周知。
28	横浜町	・情報共有ツールを活用している。町内では「物忘れチェックシート」を作成し、介護保険の手引きへ記載している。既存の会議(イ参照)で意見交換をしている。		・情報共有ツールの活用。
28	東北町	・入退院情報共有シート(管内統一)あり。ケア会議で手引き活用の周知。 ・医療・介護関係者研修会や高齢者等ネットワーク会議での情報交換等実施 ・あおもり医療介護手帳の様式や活用について検討中。	・ICTや情報共有シートについての要望は聞かれない	
29	六ヶ所村	・入退院時情報提供シートの活用 ・村で作成した医療と介護関係者の連絡票の活用 導入にあたり、地域ケア会議において意見をもらい、開始時には村内医療機関に直接出向き、趣旨説明と同意を得た。	・入退院時情報提供シートについては、医療機関によって、必要性に関する認識が異なるため、連携支援が必要な個別のケースの対応・体制づくりが難しい。	・活用の依頼

(旧力) 医療・介護関係者の研修

	市町村名	具体的内容	課題	医師会・医療機関に協力を依頼している内容
6	十和田市	<ul style="list-style-type: none"> ・10/8十和田市医療介護事業者連絡会を開催し、新型コロナウイルス対策などについてZoomを活用し情報共有を行った。(会場37名、Zoom132名、合計169名参加) ・12/21十和田市立中央病院「Web連携の集い」の開催。新型コロナウイルス感染予防対策のため、Zoomを使用した講演会を医療介護関係機関を対象に行う。(会場56名、Web85名、合計141名参加) ・委託先の中央病院の資源を活用し毎月1回程度、医療介護関係者に向けた研修会を開催。 	・新型コロナウイルス対策として、研修会の参加についてZoomを有効活用していく。	・上十三医師会への後援(協力依頼)。
7	三沢市	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種研修会の開催 第1回(平成30年2月)、第2回(平成31年2月) 令和元年～ コロナにより休止中、令和3年度は計画中 	・研修会の運営手法等	・特になし(今後、依頼する予定)
24	野辺地町	<ul style="list-style-type: none"> ・R3.12.24「訪問歯科について」と題し、歯科医師を講師に研修会を実施した。参加対象職種は、薬剤師・看護師・ケアマネ・介護福祉士など。 	・コロナ対策を考慮した開催の方法	・講師依頼と研修会への参加依頼
25	七戸町	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア個別会議の場で多職種で事例検討を実施。医療・介護関係者等を対象に身寄りのない方が亡くなった時困らないために関係機関の役割を共有し対応を検討した。 		
26	六戸町	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年1月17日実施。青森県薬剤師会会長 木村隆二氏から「自立支援型ケアマネジメント～多職種協働の薬剤管理について～」講演してもらった。町内医療・介護関係者16名の参加があった。年1回開催予定にしている。 		・研修会講師の協力を依頼。
27	横浜町	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔衛生について②介護保険と自立支援についてをテーマに開催。参集範囲は医師、看護師、歯科医師、薬剤師、ケアマネジャー、生活コーディネーター、介護職。 		・研修の参加依頼や講師依頼
28	東北町	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・関係者研修会2回実施予定(対象:町内医療・福祉・介護関係者、七戸病院関係者) ・介護支援専門員等研修会実施予定(対象:介護関係者) テーマ 自殺予防対策 ゲートキーパー 		
29	六ヶ所村	<ul style="list-style-type: none"> ・R3.1.27: 専門職向けのゲートキーパー研修(自殺対策)を実施した。参加職種はケアマネージャー、薬剤師、社会福祉協議会職員、地域包括支援センター職員。 ・R4.1.15に県が主催する在宅医療・介護連携に関する研修会を、医療介護関係者研修に位置付け、参加勧奨を行った。 	・研修の定例化	・研修参加依頼